

会務報告

第13回 (1994年度) 研究発表会および総会

第13回研究発表会ならびに総会は、1994年5月28日(土)午後2時30分より、横浜市立大学で開催された。総会では、事業計画案・予算案の審議や研究会のお知らせをおこなった。その後、研究発表10題と活発な質疑応答があり、盛会であった。

研究発表後、恒例の懇親会が同学内で催され、多くの参加者を得て有意義な情報交換がおこなわれた。

本研究会は、会員相互に支えられた勉強の場である。日頃の研究成果等を互いに提供し合い、より一層の向上を図るためにも、多くの方々の積極的な参加が望まれる。

研究発表会(発表12分、質疑3分)

15:00~15:45 座長 萩谷盛雄

(1) 西丹沢における水質及び水生動物調査

斎藤隆政 (県立平塚江南高等学校)

(2) 教材としての生物パネル写真

苗川博史 (湘南工科大学附属高等学校)

(3) 組織培養の教材化—ポリプロ袋とコーヒービンを用いた展開例

渡辺克巳 (県立教育センター)

15:45~16:30 座長 渡辺克巳

(4) 多目的教材としてのアカパンカビに関する研究

原 誠五 (県立大原高等学校)

(5) 0℃でも生き続けるミジンコ *Daphnia magna* STRAUS (オオミジンコ)

佐藤 晋 (横須賀市立池上中学校)

(6) プラナリアの教材化

高梨征雄 (県立高浜高等学校)

16:30~17:30 座長 馬淵智生

(7) メンデルの法則実験ゲーム〈面出〉の授業実践報告

金田宏仁 (県立相模大工業高等学校)

(8) 水耕栽培ヒマワリ (*Helianthus annuus* L. cv. KOKURYU) の光合成能に関するNとKの影響

安藤秀俊 (川崎市立御幸中学校)

(9) 校庭樹木の観察授業

藤崎洋子 (神奈川学園高等学校)

(10) 森と干潟と海—集水域生態系・小網代の紹介

築瀬公成 (県立大船高等学校)

研 究 会 報 告

本年度は2回の研究会を実施した。第1回は10月30日(日)県立岡津高等学校で、木俣美樹男氏を講師に「雑穀の来た道と文化」をおこなった。第2回は1月28日(土)県立大原高等学校で、原誠五氏を講師に「アカパンカビを用いた生殖・遺伝に関する実験」をおこなった。

また、8月23日(火)~26日(金)横浜市立大学で、「バイオテクノロジーの基礎技術」の実習会が横浜バイオテクノロジー懇談会と財団法人日本バイオインダストリー協会の主催でおこなわれた。本研究会もこの実習会に協力した。以下にその概要を紹介する。